

東西条地域センターだより

第1号

平成25年5月30日発行

東西条地域センター TEL/FAX 082-421-2023

「東西条地域センターだより」発刊にあたって

東西条地域センター長 藤岡 洋治

地域センターは、市民協働のまちづくり行動計画に基づき、公民館等の従来の生涯学習機能を継承しつつ、より地域の拠点性を高めることで、住みよい地域社会の形成に寄与することを目的に設置されています。

東西条地域センターも、この目的達成のために努力しているところです。

2月21日に東西条住民自治協議会が発足、続いて、4月25日には定期総会を開催し、事業や予算の承認をいただき、5部会（総務部会、防犯・防災部会、福祉、健康・生涯学習、地域活性化）を中心に活動が行われています。また、生涯学習機能の継承という観点から、「自主活動講座」のほか、市や地域のニーズに応じたものや現在必要であると思われるものを「主催講座」として皆様方に提供しています。（内容につきましては、地域センター受付窓口に「平成25年度 講座開催の案内」を置いていますので、ご覧ください。）

東西条地域センターの住所は、「西条土与丸二丁目3番4号（TEL/FAX 082-421-2023）」で、藤田沖交差点から旧国道375号線を西条駅方面に向かって約120m、「ミスタータイヤマン ドリーム」の西側にあります。

なお、この「地域センターだより」は、徒然なるままに発刊させていただきたいと考えています。東西条地域センターに関する情報は、隔月に発刊予定の「東西条地区住民自治協議会だより」にも載せています。そちらの方もご覧ください。どうぞよろしく願いいたします。

今年もツバメがやってきました！

地域センターに、今年もツバメがやってきて、今、子育ての真っ最中です。ひな鳥は巣の中で静かに待っているのですが、突然大きな口を開けてさえずります。するとそこには、親鳥の姿が……。エサをひな鳥の口に入れるとすぐに飛んで行ってしまいます。この繰り返しですが、ひな鳥は確実に大きくなっています。いつ飛び立つのでしょうか。その日も楽しみです。



(5月30日午前8時頃)

「ごみ分別を学ぼう会」を開催して

ごみ処理は、私たちの暮らしに密接に関係しています。「ザ・ウィークリー・プレスネット 5月18日号」でも取り上げられましたが、今、ごみ処理について考え、実践することが大切だと考えます。

5月27日、主催講座として「ごみ分別を学ぼう会」を開催しました。廃棄物対策課の渡辺様からはDVDの視聴をした後、具体物を使っての講話等をしていただきました。また、ごみの収集をされている方からは、収集をされている時のお話や実際にごみ収集車（パッカー車）を動かしたりしていただきました。

《受講された方々の感想の一部を紹介いたします。》

- ・竹串をそのまま袋に入れたりガスボンベに穴を開けないで出したりすると、ごみを収集される方がけがをされたり車から出火したりする。出し方に気をつけたい。
- ・分からない時は、「ごみブック」（東広島市発行）を見て、分別しようと思う。
- ・生ごみ処理の仕方、水切りをもっと実行しなければと思った。
- ・3R（リユース：何度も繰り返し使う、リデュース：ごみになるものを減らす、リサイクル：資源として再利用する）について再認識でき良かった。
- ・東広島市のごみ収集はAランクと聞きホッとした。今後も正しい分別を行いたい。



（パッカー車の中は？）

ごみの出ない社会、循環型の社会をみんなでつくっていきましょう。

今後の「主催講座」について

講座名	日時	内容	講師名
卒災のすすめ	6月 3日	卒災とは、災害が起こることを前提に準備できることをすることです。危険箇所の調査をし、現状に即した防災マップづくりに取り組みます。	伊藤貞夫様 （防災士、五日市観音学区自主防災会連合会長）
	6月 10日		市役所（総務部危機管理課）職員
地域でこどもを見守り隊	7月 22日	市内でも児童虐待が増えている今、現状を聴いて、地域として、地域の一員として何ができるのか考えます。	市役所（福祉部こども家庭課）職員
	7月 29日		織田壽子様 （市教委教育委員、保護司、元寺西小学校長）
	8月 5日		上栗哲男様 （広島新生学園長）

（多くの皆様のご参加をお待ちしています。）